



人権啓発標語

『大丈夫』 その一言で救われる あなたは心の救急隊

菊陽中学校 3年 坂元 愛理



なかまと一緒に
(作者は前列中央)

「伝えることの大切さ」

ぼくは6年生になるまで、授業で友だちと話し合うときは「みんなが○○ならば、ぼくも同じにしよう」とひと任せにしていることがありました。それは、周りの人と考え方が違って一人になっってしまうと、自分の考えに自信がなくなってしまうからです。だから、自分の本当の意見を言えずに話し合いを終わらせてしまうことがありました。また、授業だけでなく、学校生活でも、自分の気持ちを伝えられずに他人に合わせるままうことがありました。

しかし、そんな何も言えない自分が本当はすごいやでした。だから、最上級生である6年生になるときに「変わらないといけない」と決意しました。また、今年の南小の人権スローガンは「自分の気持ちを伝えられる南小にしよう」でした。だから、自分もしっかり意見を言うようになるために意識して頑張ろうと思いました。

緊張しました。それでも、勇気を出して相手に伝えると、友だちは「それいいね！」としっかりぼくの考えを受け止めてくれて安心しました。また、自分の気持ちを伝えたことで、もやもやしていた気持ちがなくなりました。

3枚の写真から考えること ～少数の立場は見えているか？～



写真①



写真②



写真③

3枚の写真は、私たちの生活の中で見かけるものです。写真①は町役場1階にある自動販売機です。写真②は防災センター2階のトイレです。写真③は寿司屋さんのにぎりセットです。この3場面を普段は何げなく見ていましたが、自動販売機の硬貨の入れる場所や、水を流すレバーの位置やにぎりの並べ方がどうしてそこにあり、そうなのかが気になりました。この3枚の写真に共通するものはどんなことだと思いますか。・・・それは、社会を構成する多数の人を中心にした社会の姿がそこにあるということです。寿司職人に「どうしてこういう並べ方をするんですか？」と尋ねたら「〇〇の方が多いからこの並べ方が食べやすいでしょう。」と言われました。90%と言われる右利きの人が使いやすいように考えられていることが共通していると思います。筆者自身、多数の立場で生活しているんだと3枚の写真の場面から振り返って思います。

学校だより 58

武蔵ヶ丘小学校

タイムラン

チャレンジ大会

武蔵ヶ丘小学校(根本まり子校長、全校児童295人)は、学校教育目標「ちがいを豊かに」に「自分に夢と自信を」を掲げ教育活動を進めています。昨年12月16日(金)にタイムランチャレンジ大会を開催しました。長い距離を自分の設定した目標に向け、自分のペースで走ることで持久力を高め、最後まで頑張り通す態度や忍耐力の向上を目指しています。保護者の皆さんの応援を受け元気に走る姿や友だちを応援する姿が見られました。久しぶりの全校行事で、学校が活気に包まれました。



タイムランチャレンジ大会の様子

きくよう文芸

1月

菊陽句会報

戦なき真白き野辺の淑気かな 阿蘇噴煙今日は左へ去年今年 檸檬の木寒気防ぎの孤覆ふ 余生なほ励まし合ひの初電話 過疎の冬静けさ深く色もなく 中岳の不織を仰ぐ松の内 命毛の見ゆる賀状の美きかな	紫藤 祥子 曾我 育代 曾我トモ子 緒方チエ子 米山るみ子 吉田 幸子 木村 信子	初釜の母の絆にゆるぎなし 吾も又妣に似て来し初鏡 何もせぬこんな日も好し餅を焼く 小鳥来る生くる楽しみ老の春 遠き日のごんどはいつも父のそば 洗ひ上げ蕪光の束となり 阿蘇すでに隠れ独りに夕時雨	田中 郁子 寺尾千代子 財津 早雪 原野レイ子 高橋 孝子 北川しんじ 佐藤 澄世
--	---	--	---

短歌会

風過ぎて折れ曲がりたる南天の穂先に生る実なほ赤きかな
元日はメロンの種を播くと決め今年も一人箱を並べる
敏捷に椿の茂みを飛び交う小鳥の声は囁きに似る
温暖の地球に生きる木々の葉は芽吹かむと落つ大寒の前に
老杉の裸の梢は細りいて青き冬空に高く伸びゆく
まだ暗き窓辺を伝う雨跡をハザードランプは赤く照らしぬ
ここに皆集まれ見らよ青空に高くはためく風の糸を引け

有久 賢治
梅田 國雄
佐藤せい子
田中 成美
中村トシエ
馬場 礼子
松本 東亜